

明治維新150年事業関連企画展

# 幕末 明治

# 医 の 維 新

2018  
7/13(金)  
▼  
9/14(金)

—佐野常民、人道への歩み—

会 場：佐賀市佐野常民記念館  
(佐賀市川副町大字早津江津446-1)

TEL: 0952-34-9455

FAX: 0952-34-9465

開催時間：9:00～17:00

休 館 日：7/17(火)、9/3(月)10(月)

観 覧 料：大人 300円

小・中・高校生 無料

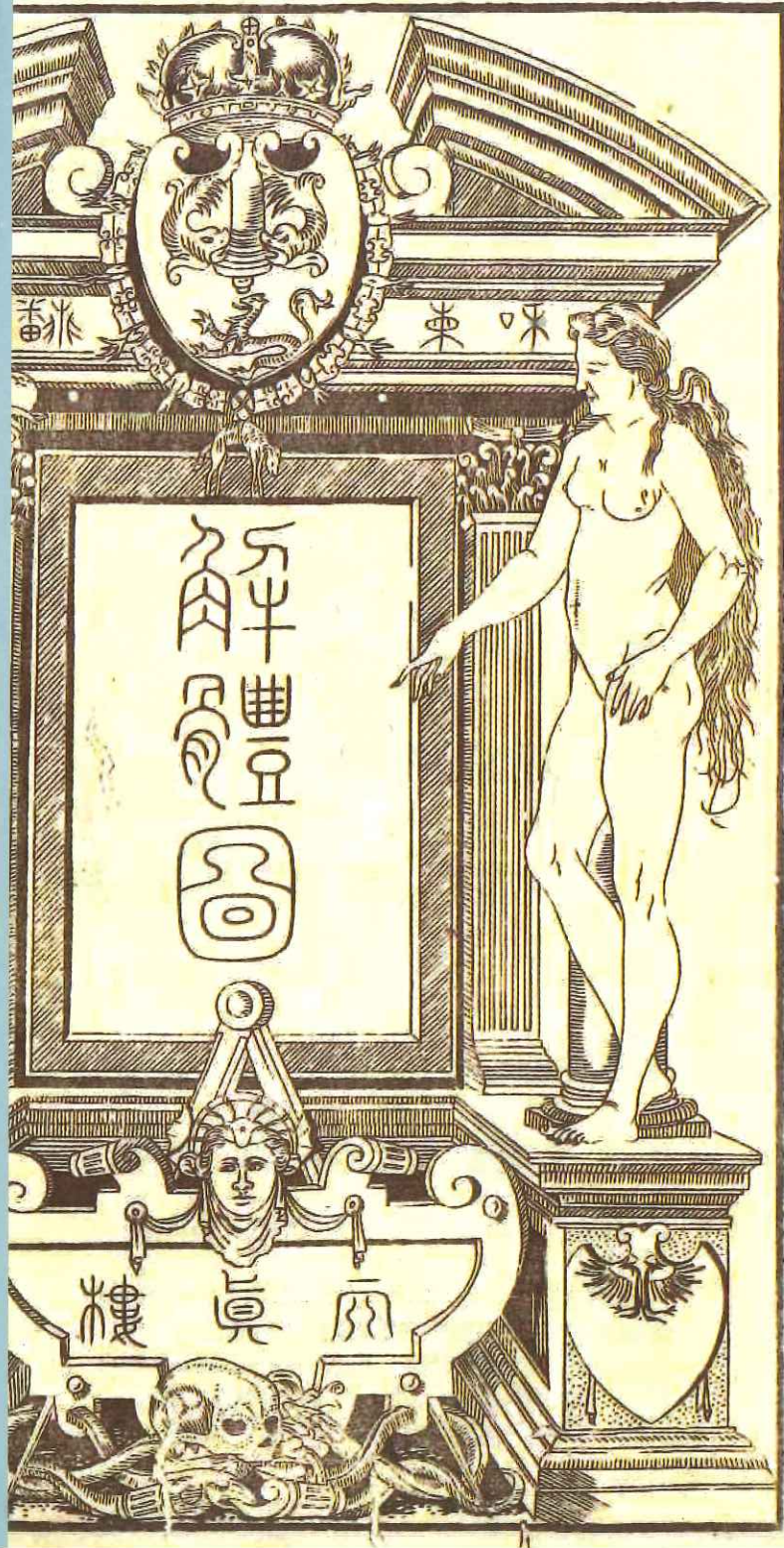
主催 佐野常民記念館

共催 佐野常民顕彰会

協力 中富記念くすり博物館

後援 日本赤十字社佐賀県支部、朝日新聞社、毎日新聞社、佐賀新聞社、  
西日本新聞社、読売新聞西部本社、NHK佐賀放送局、エフエム佐賀、  
NBCラジオ佐賀、サガテレビ(順不同)

「解体新書」佐賀大学地域学歴史文化研究センター蔵



明治維新150年事業関連企画展

# 幕末・明治 医の維新

—佐野常民、人道への歩み—

明治維新二五〇年を迎えた二〇一八年。日本赤十字社の初代社長として知られる佐野常民は理化学研究、美術などの幅広い分野で活躍し、佐賀藩の医師として認められた人物でもあります。藩の命で学問の旅へと出た佐野は、各地の名だたる学者のもとで日々研鑽を積み、医術だけでなく医の倫理や海外情勢などを学びました。

開国後、目覚ましいスピードで近代化の道を進んだ我が国では、西洋医学が広まるまで医学の中心は東洋医学(漢方医学)でした。本格的な西洋医学の翻訳書として有名な『解体新書』が刊行されると、全国的に蘭学への関心が高まり西洋医学の研究・活用も盛んになっていきます。

海外の情勢に敏感であった佐賀藩では、漢方医学の体制を西洋医学へと転換。一八四九年には種痘に成功するなど医療面にも力を入れており、医学教育施設として創設されていた医学寮(佐賀県医療センター好生館の前身)で学んだ医師は近代医学の発展に大きく貢献しました。

企画展では、佐野常民が生きた幕末・明治期における医に関する変化と発展に目を向け、医学書、道具類などの資料を展示するとともに、佐野の『医』への功績と歩みについて紹介します。

企画展関連ものづくり

くだいて、まぜて、サシェづくり

8月5日(日) 13:30~15:00

(7月3日(火)午前9時より電話にて受付開始)

対象:小学生以上 20名様まで

詳細は下記までお問い合わせください。



注射器(当館蔵)



原病学通論(当館蔵)



大日本私立衛生会雑誌(当館蔵)

【お問い合わせ】

佐賀市 佐野常民 記念館

TSUNETAMI SANŌ Memorial Museum

〒840-2202

佐賀県佐賀市川副町大字早津江津446-1

TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465

URL : [www.saganet.ne.jp/tunetami/](http://www.saganet.ne.jp/tunetami/)

Mail : [tunetami@star.saganet.ne.jp](mailto:tunetami@star.saganet.ne.jp)

